

コンパクト
napnap ベビーキャリア Compact

取扱説明書 / 保証書

商品に関するお問い合わせ

株式会社 ナップナップ

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 1-5-7 三ノ輪ビル7階

 **0120-900-720**

napnap フリーダイヤル 受付時間 : 9:00 ~ 18:00 (土・日・祝日を除く)

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

本製品を他の方にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。

・メーカー品番 : NBC-008 ・管理番号 : DT-003

● ご使用の前に

このたびは当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の際はこの取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。また、本製品を
他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡してください。

お問い合わせ先

株式会社ナップナップ
東京都荒川区東日暮里1-5-7三ノ輪ビル7階

☎ **0120-900-720**

受付時間：9:00～18:00（土・日・祝日を除く）

● ご使用時期の目安



SGマーク制度 補償対象範囲



SGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。

- ・縦だっこ：首がすわった乳児期（4ヶ月）～24ヶ月（体重13kg）まで
- ・おんぶ：首がすわった乳児期（4ヶ月）～36ヶ月（体重15kg）まで
ただし、新生児パッド（別売）をつけた場合には縦だっこは生後1ヶ月から

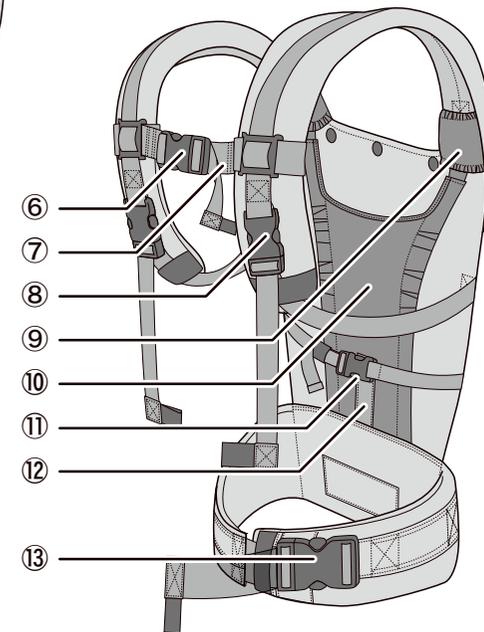
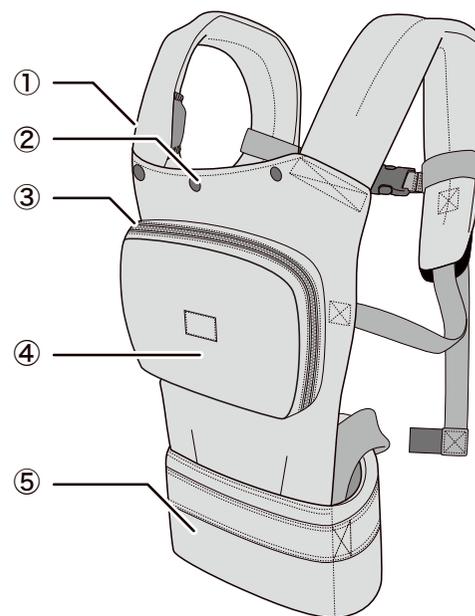
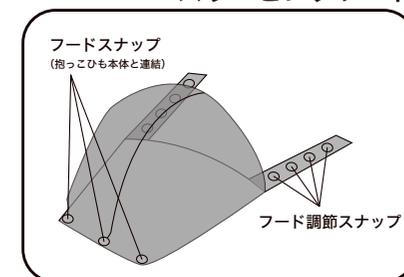
注意

新生児縦だっこ：新生児パッド（別売）を使用することにより、生後10日頃～首すわり（4ヶ月）までご使用いただけますが、生後10日頃～生後1ヶ月まではSGマーク制度の対象外です。
おんぶ：首すわり（4ヶ月）～48ヶ月（体重20kg）までご使用いただけますが、36ヶ月（体重15kg）～48ヶ月（体重20kg）まではSGマーク制度の対象外です。

● 各部名称

- 製品を取り出した後は部品がそろっているか、バックルやスナップ等に破損がないかを確認してください。
- 欠品や破損の際は弊社お客様サービスセンターまですみやかにご連絡ください。

スリーピングフード



- ①肩ベルト
- ②フードスナップ
- ③収納ポケットファスナー
- ④背あて
- ⑤腰ベルト
- ⑥調節バックル
- ⑦調節ベルト
- ⑧肩バックル
- ⑨ホルダーバックル
- ⑩おんぶ補助（落下防止）ホルダー
- ⑪落下防止ベルト
- ⑫コンパクト収納ベルト
- ⑬腰バックル

警告 誤った取り扱いをすると、死亡事故につながる恐れがある内容です。

■ 落下の危険性

● お子さまが開口部から落下する恐れがあるため、着脱の際や身体を傾ける場合はお子さまが落下しないよう手で支えてください。しゃがむ時は、お子さまの頭が下向きにならないよう、腰ではなく膝を曲げてください。



安全な姿勢



危険な姿勢

- 各部にあるバックルは確実にとめ、ベルト・ストラップの長さをお子さまや使用者に合わせて正しく調節してください。誤った使用方法によりお子さまが落下する恐れがあります。
- 本製品を使用中に、大きく前かがみになったり反ったりしないでください。お子さまが滑り落ちる恐れがあります。
- 装着の際、お子さまの足が抱っこひもの両側からそれぞれ出ているのを確認してください。抱っこひもの片側から両足が出た場合、お子さまが開口部より落下する恐れがあります。
- 本製品を装着後はバックルなどが確実にとめられているか、ベルト・ストラップに緩みがないか、服などをバックルが噛んでいないかを必ず確認してください。特に使用者の背面側にあるバックルはより注意して確認してください。

■ 窒息の危険性

- 生後4ヶ月未満の乳児は、使用者の体に顔を強く押し当てられた際、本製品内で窒息するおそれがあります。お子さまのお腹と使用者の間に約こぶし一つ分の間隔（新生児の場合のひら一枚分の間隔）を取るように肩ベルトを調節してください。
- 本製品をご使用の場合はお子さまを保護者の体に強く縛りつけず、お子さまの頭部に動かせられる程度の余裕があるよう装着してください。
- お子さまの状態に注意しながら使用し、気道をふさぐことがないようにしてください。お子さまのあごと胸の間に指2本分の間隔が必要です。
- お子さまの顔が本製品に埋もれてしまう場合は、お子さまのお尻の下にタオルやクッションなどを敷き、顔が埋もれないようにしてください。
- 授乳後30分の間は本製品を使用しないでください。お子さまのおなかを圧迫することにより、嘔吐・窒息などのおそれがあります。



■ 使用時の危険性

- 実際にお子さまに使用する前に取扱説明書をよく読み、お子さまのいない状態で着脱の練習をしてからご使用ください。また、実際にお子さまに使用する際、慣れるまで周囲の人に手伝ってもらいながら使用してください。
- 新生児パッド（別売）を使用し、生後10日頃からの乳児に装着する場合、早産児及び呼吸疾患等のあるお子さまには、生後10日頃を過ぎても使用を控えてください。
- 車両（自動車・オートバイ・自転車など）を運転中に使用しないでください。
- 取り扱い説明書に記載されていないポジションで使用しないでください。
- 取り扱い説明書に記載されている以外の目的で使用しないでください。破損・故障の原因になります。
- 有機溶剤・酸・アルカリ・アルコール・薬品・熱湯などを製品にかけないでください。変形・変質し、事故につながるおそれがあります。
- 本製品を高温の場所や火の近く、直射日光のあたる場所、屋外等に放置・保管しないでください。バックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損傷が生じる恐れがある内容です。

■ 着脱の注意

- 本製品を着脱する際は、ベッドやソファなどの安全な場所で、可能な限り低い姿勢で行ってください。また、周囲に人がいる場合は可能な限り手伝ってもらいながら装着してください。おんぶの際は特に注意が必要です。
- 首のすわらない乳児に使用する場合は、必ず新生児パッド（別売）をご使用ください。
- 製品にほつれやキズ・破れがあった場合、またはバックルやフックが破損した場合は速やかに使用を中止してください。
- 抱っこで使用する場合は、お子さまの頭部により、使用者の前方や足元の視界が妨げられないよう装着し、歩行時も十分注意してください。
- 新生児パッド（別売）を使用し、生後10日頃からの乳児に装着する場合は使用者とお子さまが向かい合うよう必ず縦だっこでご利用ください。おんぶは出来ません。
- 使用中の摩擦・汗などにより、衣服に色が移る可能性があります。
- 製品のストラップ部分等をほどいたり切り落とさないでください。
- 湿った状態、水につけた状態で長時間放置しないでください。

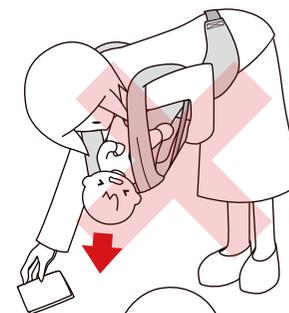
■使用時の注意

- バックルの開口部にお子さまの手や指が入らないよう注意してください。隙間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。製品をご使用にならない時は開口部を作らないよう、必ずバックルをはめ込んで保管してください。
- 連続して使用する際はお子さま、使用者の体調の変化や装着状況を確認しながら使用してください。また、連続して2時間以上の使用はしないでください。
- 使用者の体調がすぐれない、体に痛みを感じている、飲酒および薬類を服用している場合などは使用を控えてください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 使用者が痛みや不快感を覚えた場合は使用を中止し、医師にご相談ください。
- 家事での使用は屈んだ時などに転倒するおそれがあります。
- 料理中に使用するとやけど等のおそれがあります。
- お子さまが予期せぬ動きをしたり、本製品の中で動くことにより、使用者がバランスをくずす恐れがあります。使用中はお子さまの位置や姿勢の調整ができるよう常に両手が使えるようにしてください。
- 抱っこひもを着用したまま走ったり飛び跳ねたり寝転んだりしないでください。
- 使用中の喫煙や飲食には十分注意してください。やけどの恐れがあります。
- 電車など込み合っている状況で使用する場合はお子さまの状態をしっかりと確認してください。
- 妊娠中は使用しないでください。
- 抱っこひもを着用したままスポーツなどをしないでください。
- 使用中は周りに注意し、お子さまがぶつからないようにしてください。

■使用時の注意

1. しゃがむ時の注意

- 落し物を拾う時や、しゃがみこんだ時などにお子さまが落下するおそれがあります。お子さまが落下しないように手で支え、しゃがむときはひざを折るようにしてください。



2. お子さまをおろす時の注意

- お子さまをおろす時、腰ベルトを先に外してしまうとお子さまが落下するおそれがあります。お子さまの安全を確保できる場所で調節ベルトを外し、肩ベルトを外してお子さまをおろした後、腰ベルトを外してください。



3. とめ忘れ注意

- 各種バックルはカチッと音がするまでしっかりととめてご使用ください。

特に縦だっこの場合、背中の調節ベルトを目で見て確認できないため、バックルをとめた後、左右に引っ張って外れないか確認してください。



4. ベルトの調節

- 肩ベルト・腰ベルト・調節ベルトなどが緩んでいると思わぬ事故につながるおそれがあります。

使用者、お子さまが苦しくない程度にしっかりとベルトを締め、安全にご使用ください。



安全にお使いいただくために

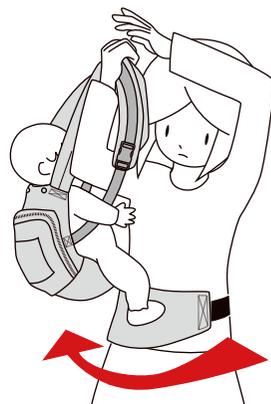
■ 使用時の注意

5. おんぶは慎重に

- お子さまをおんぶする際は必ず安全な場所で行ってください。

説明書に記載されていない方法でおんぶをする際は十分にご注意ください。

お子さまが落下して事故につながるおそれがあります。



■ しっかり調節

1. だっこの姿勢

- ①抱っこひもをご使用の際は腰ベルトをしっかりと締めてください。
- ②お子さまの位置は使用者のあごがお子さまの額に届く高さが理想的です。
- ③お子さまの背中はやかな曲線となるよう、肩ベルトを調節してください。緩すぎて使用者とお子さまの間に隙間が空きすぎたり、締めすぎてお子さまの背中が反ったりしないよう注意してください。



● SG マーク制度

SGマークが表示された製品は安心してお使いいただけます。



SGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。

- 縦だっこ：首がすわった乳児期（4ヶ月）～24ヶ月（体重13kg）まで
- おんぶ：首がすわった乳児期（4ヶ月）～36ヶ月（体重15kg）まで
ただし、新生児パッド（別売）をつけた場合には縦だっこは生後1ヶ月から

SGマークが表示された製品は安心してお使いになれますが、消費者の皆様が正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生した場合は「製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

※但し購入後3年以内です。

賠償についてのご注意

認定した製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払することになります。

賠償金の請求について

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求するときは別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会、または協会が指定する処に届けてください。

製品安全協会
〒110-0012
東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2階
TEL：03-5808-3303

事故賠償に必要な項目

事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ) 製品の名前、SGマーク番号 口) 製品の購入先、購入年月

事故発生の状況
イ) 事故発生年月日 口) 事故発生場所 八) 事故発生状況

被害状況
イ) 被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所 口) 被害の状況と程度

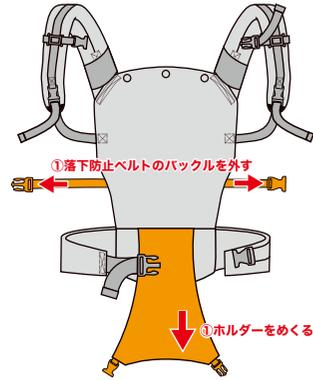
●機能紹介

落下防止機能

⚠警告：本製品をご使用の際はお子さまの落下を防ぐため必ず【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】【落下防止ベルト】をご利用ください。

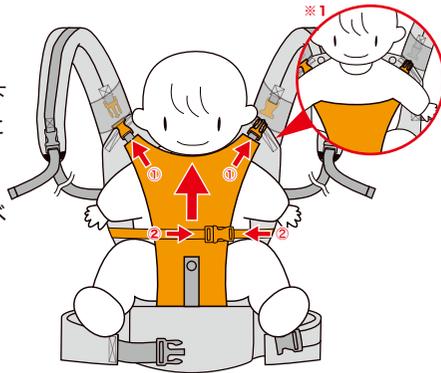
●落下防止ホルダーを広げる

- ①【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】【落下防止ベルト】のバックルを外し、ベッドやソファなどの安全な場所に抱っこひもを広げる。



●落下防止ホルダー・ベルトを装着する

- ① お子さまをのせて【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】をかぶせ、バックルをとめる。
- ② 【落下防止ベルト】のバックルをとめ、ベルトの長さを調節する。



※1. お子さまの腕は成長に合わせて、【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】のバックルの下から、または上から通す。

●お願い

【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】と【落下防止ベルト】は様々なパターンの事故を未然に防ぎお子さまの安全を守ります。
抱っこひもをご使用の際は【ホルダー】・【ベルト】両方を取り付け、正しくお使いください。

スリーピングフード



！
お子さまが寝てしまった場合、【スリーピングフード】を使って”首かっくん”を防止できます。

●お子さまが眠ったら

- ① 使用の際はフードを引っ張り上げてお子さまにかぶせ、左右のフード調節スナップを肩ベルトにとめる。



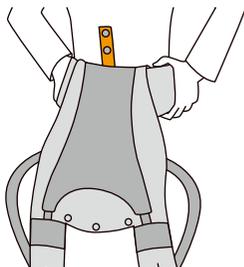
●機能紹介

コンパクト収納

公園などでお子さまを一時的におろした時、簡単にコンパクトにすることができます。

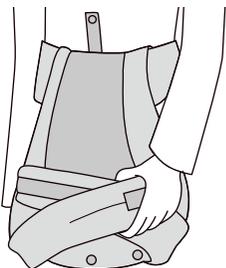
1. コンパクト収納の準備

- ① お子さまをおろしたら、腰ベルト内部の【収納ベルト】を引っ張りだす。



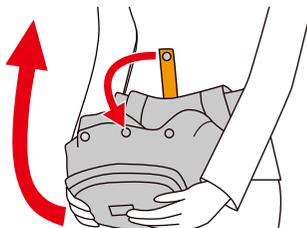
2. 抱っこひもをまとめる

- ① 肩ベルトを二つ折りにして抱っこひもを下からぐるっと巻き上げる。



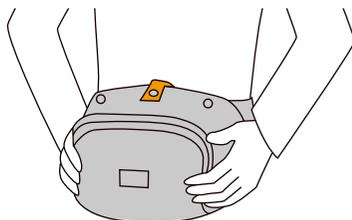
3. フードの中央スナップを外す

- ① 巻き上げたら垂れているベルトなどを内側に折り込む。
※フードがついている場合は真ん中のスナップボタンを外す。



4. スナップボタンをとめる

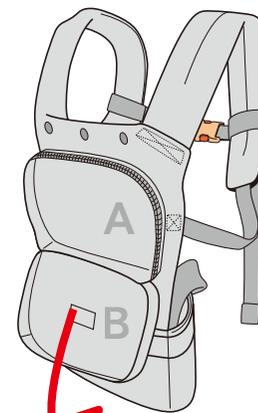
- ① スナップボタンをとめて抱っこひもを背中側にぐるっと回せば完成。



ポーチ型収納

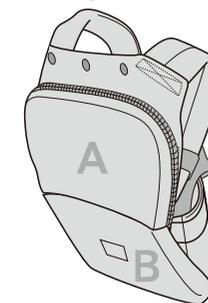
1. 前面のポケットを開ける

- ① 収納ポケットファスナーを開ける



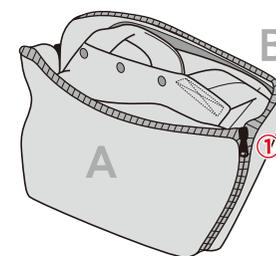
2. ポケットを裏返す

- ① ポケットで抱っこひも本体を包み込むように裏返す。
- ② 腰ベルトを先に折りたたみ、腰ベルトを両側のポケットで挟み込むようにして裏返す。



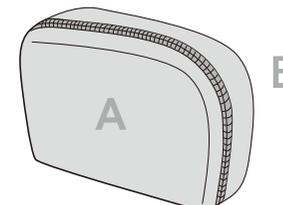
3. ポケットに本体を詰め込む

- ① 両サイドのファスナーを図のように角まで引き上げ、上部だけを開口して袋状にする。
- ② 外に出ている抱っこひもをポケットの中に詰め込んでいく。



4. ファスナーを閉めて完成

- ① ファスナーを完全に締めて形を整えたらコンパクト収納の完成。
- ② カバンに入れたりベビーカーにぶら下げて携帯OK。

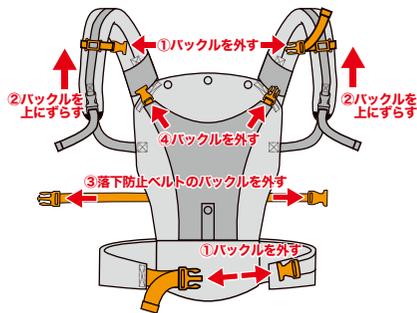


● 縦だっこ

使用時期目安：首がすわった乳児期（4ヶ月）～24ヶ月（体重13kg）
（使用者の視界を妨げない範囲でご使用ください）

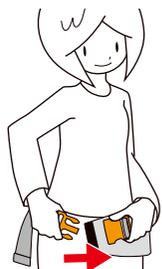
1. 縦だっこの準備

- ① 腰バックルと調節バックルを外す。
- ② 調節ベルトを上にはずらす。
- ③ 【落下防止ベルト】のバックルを外す。
- ④ 【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】のバックルを外す。



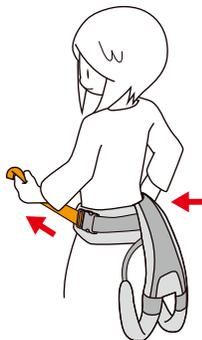
2. 腰ベルトを巻く

- ① 腰に腰ベルトを巻き、腰バックルをとめる。



3. 腰ベルトを調節する

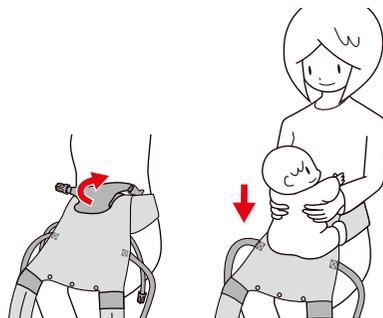
- ① 【腰バックル】が体の横に来るように【腰ベルト】を回す。
- ② 右手で【腰ベルト】を支えながら左手で紐を持ち、前方に引っ張ってしっかりと締める。
- ③ 余った紐をゴムでまとめ、抱っこひもが体の前に来るよう腰ベルトを回す。



4. お子さまを抱っこひもに乗せる

- ① お子さまをのせる前に【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】を手前に引き、腰ベルトの内側に軽く挟み込んでおく。
- ② お子さまを抱き上げ抱っこひもに乗せる。

⚠ 警告：お子さまをのせるときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。



5. 肩ベルトをかける

- ① お子さまを抱っこひもで包むように持ち上げ、手で支えながら左右の肩ベルトを肩にかける。

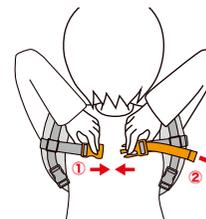
※【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】・【落下防止ベルト】をこの後取り付ける為、肩ベルトは緩めに調節しておいてください。

※お子さまが落下しないよう十分注意してください。



6. 調節バックルをとめる

- ① 首の後ろで調節バックルをとめる。
- ② 調節ベルトを苦しくない程度に締める。



7. 落下防止ホルダー・ベルトを装着する

- ① 【4-①】で腰ベルトに挟んでいた【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】を引っ張り上げる。
- ② 肩ベルトの根元についている落下防止バックルにとめる。
- ③ 【落下防止ベルト】のバックルをとめ、ベルトの長さを調節する。



- ① お子さまの位置を整えながら、左右の肩ベルトを調節する。
- ② お子さまの位置を整え、鏡などで様子を見て問題がなければ完成。

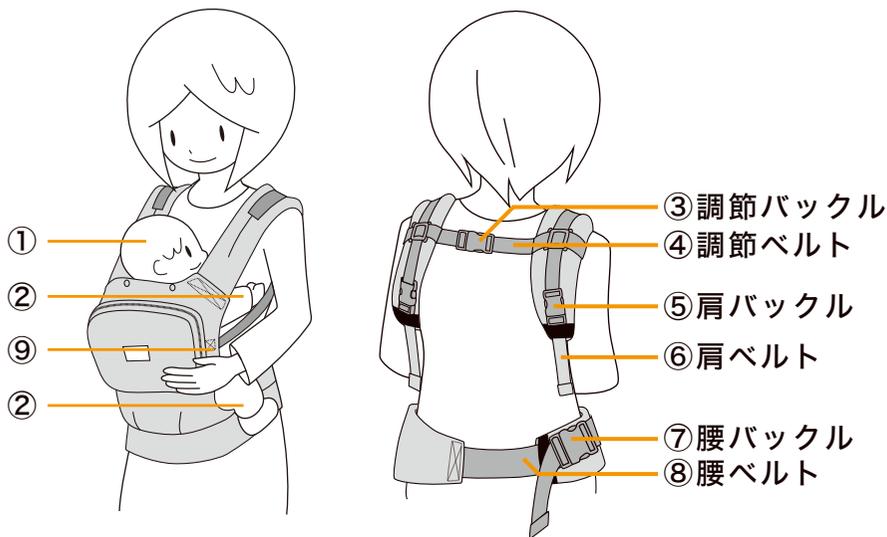


● 縦だっこ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために鏡などに姿を映して状態を確認してください。

チェックポイント

- ① お子さまの頭部が使用者の視界を妨げていない
- ② お子さまの両腕・両足が出ている
※お子さまの腕は成長に合わせて肩ベルトの上下どちらから出す。
- ③ 背中の調節バックルが確実にとまっている
- ④ 調節ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑤ 左右の肩バックルが確実にとまっている
- ⑥ 左右の肩ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑦ 腰バックルが確実にとまっている
- ⑧ 腰ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑨ おんぶ補助（落下防止）ホルダー・ベルトがとまっている



- ご使用の際はお子さまを手で支えてください
- 正しく装着できていない場合はもう一度最初から取り付け、調節を行ってください。

⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

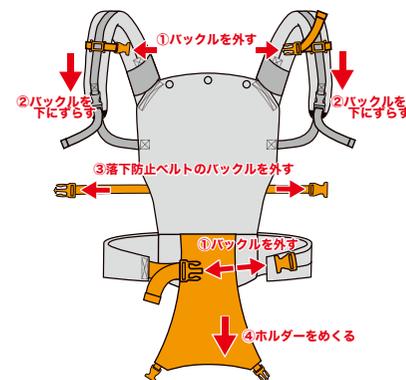
● おんぶ

使用時期目安：首がすわった乳児期（4ヶ月）～48ヶ月（体重20kg）
（36ヶ月から48ヶ月まではSGマーク制度の対象外です。）

首が完全に座るまではおんぶはしないでください。

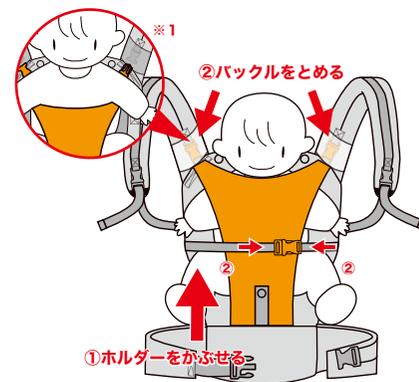
1. おんぶの準備

- ① 腰バックルと調節バックルを外す。
- ② 調節ベルトを肩ベルト先端へ向けずらす。
- ③ 落下防止ベルトのバックルを外す。
- ④ おんぶ補助（落下防止）ホルダーのバックルを外し、めくる。



2. ホルダー・ベルトを装着する

- ① ベッドやソファなど安全な場所に抱っこひもを敷き、お子さまをその上に寝かせ、【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】をかぶせる。
- ② 【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】のバックルをとめ、お子さまがしっかり収まっているか確認したら、【落下防止ベルト】のバックルをとめ、ベルトの長さを調節する。

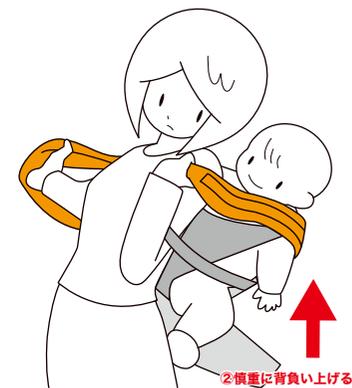


※1. お子さまの成長に合わせて、【おんぶ補助（落下防止）ホルダー】のバックルを腕の上から、または腕の下からとめてください。

3. 肩ベルトをかけて背負う

- ① 肩ベルトに手をかけ、お子さまを背中で迎えに行くように体を反らせながら、ゆっくりと肩ベルトを持ち上げる。
- ② お子さまが落下しないよう慎重に背負い上げる。

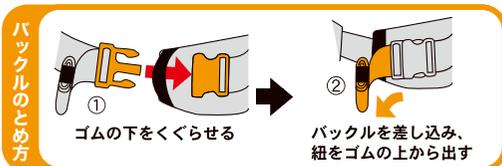
⚠ 警告：お子さまを背負うときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。



● おんぶ

4. 調節バックルをとめ、腰バックルをとめる

- ① お子さまをおんぶする時に少し前にかがみながら調節バックルをとめる。
- ② お子さまの足が内側に入らないように腰に腰ベルトを巻き、腰バックルをとめる。



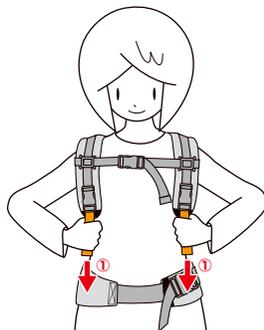
5. 調節ベルト、腰ベルトを締める

- ① 調節ベルト、腰ベルトを苦しくない程度にしっかりと締め、余ったベルトをゴムでまとめる。



6. 肩ベルトを調節する

- ① 左右の肩ベルトをお子さま、使用者共に苦しくない程度にしっかりと締める。
※前方向にベルトを引っ張ると軽い力で締められます。
- ② お子さまの位置を整え、鏡などで様子を見て問題がなければ完成。

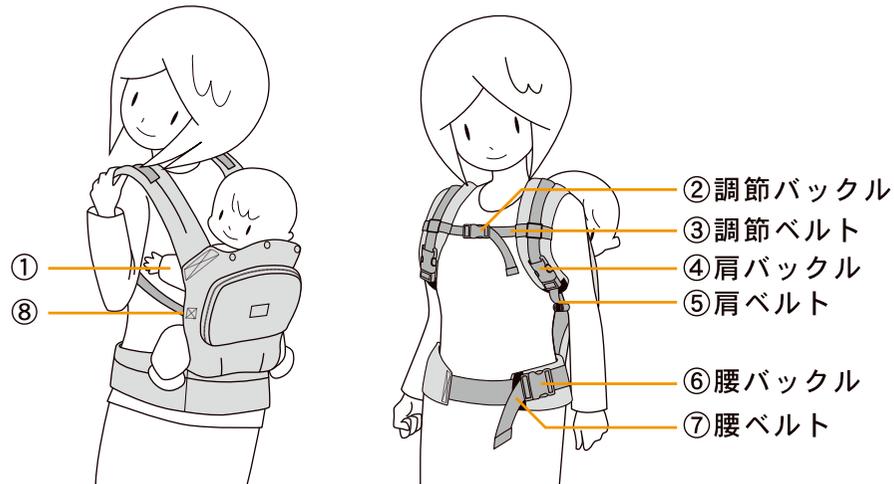


● おんぶ：装着後のチェック

安全にお使いいただくために鏡などに姿を映して状態を確認してください。

チェックポイント

- ① お子さまの両腕・両足が出ている
※お子さまの腕は成長に合わせて肩ベルトの上下どちらから出す。
- ② 調節バックルが確実にとまっている
- ③ 調節ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ④ 左右の肩バックルが確実にとまっている
- ⑤ 左右の肩ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑥ 腰バックルが確実にとまっている
- ⑦ 腰ベルトが使用者の体格に合わせて調節されている
- ⑧ おんぶ補助（落下防止）ホルダー・ベルトがとまっている



- 使用者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に授乳期のお母さまは、乳房を圧迫するおそれがあります。
- 使用者からお子さまの顔が見えないので、約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。
- 正しく装着できていない場合はもう一度取り付け、調節を行ってください。

⚠ 警告：正しく装着できていない場合、お子さまが落下するおそれがあります。

● おんぶのおろし方

1. お子さまを抱っこひもからおろす

- ① ベッドやソファなど、安全な場所に腰掛け、調節バックルを外し肩ベルトをゆっくり外す。
- ② ゆっくりとベッドやソファなどに寝かすようにお子さまをおろす。

⚠ **警告：お子さまを抱っこひもからおろすときは必ず安全な場所で行ってください。不安定な場所ではお子さまが落下するおそれがあります。**



2. 腰ベルトを外す

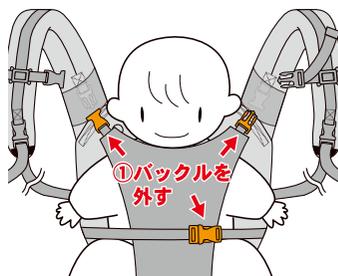
- ① お子さまの安全を確認し、腰ベルトを外す。



3. 落下防止ホルダーを外す

- ① 【おんぶ補助(落下防止)ホルダー】【落下防止ベルト】のバックルを外し、お子さまを抱き上げて抱っこひもからおろす。

⚠ **警告：抱っこひもをお子さまの体の下に敷いたままにしないでください。寝返りなどでバックルやひもが絡み、思わぬ事故につながる恐れがあります。**



● お手入れについて

日常のお手入れ

- 汚れなどは濡らせた布でたたいて落としてください。その後、形を整え日陰で吊り干してください。

洗濯についてのご注意

- 洗濯の際はまとめゴムを外しバックルをとめ洗濯ネットに入れて30℃以下のぬるま湯か水で洗濯してください。 ※まとめゴムをとめたまま洗濯するとゴムが伸びます。
- 蛍光剤入りの洗剤を使用すると、移染することがありますので使用しないでください。
- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別々に洗濯してください。
- つけ置き洗いはしないでください。
- 乾燥機は使用しないでください。バックルや内部のウレタンなどの破損につながります。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 抱っこひもに汗や汚れなどがしみ込んだ状態のまま使用を続けた場合、生地劣化や色あせにつながるおそれがあります。適度に洗濯などを行ってください。
- 濡れた状態で使用した場合、衣類や肌に色移りすることがあります。



保守・点検

- ご使用の際には、製品のほつれ、きず、破れ、バックルなど部品の破損がないか確認してください。

⚠ 注意

上記を一か所でも見つけた時は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると故障や事故につながるおそれがあります。

